

合格証明書

Godox



GODOX
WeChat
公式アカウント

深圳市神牛摄影器材有限公司

所在地: 深圳市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区工場 2 棟

電話: 0755-29609320(8062) FAX: 0755-25723423

メールアドレス: godox@godox.com

www.godox.com

Made in China | 705-XP2S00-05



X-PRO II S

TTLワイヤレスフラッシュトリガー

取扱説明書

目 录

前書き	02	ロック機能	14
警告	03	拡大機能	14
部品	04	段階値の設定(パワー設定)	15
本体	04	露出補正装置	16
LCD表示画面	05	ストロボパラメータ設定(出力値、	
電池装入	06	頻度、周波数設定)	16
電池残量表示	06	造形ランプ設定	17
ワイヤレス同期トリガーセット		ZOOM値設定	18
ツブフラッシュ	06	シャッター同期設定	18
ワイヤレス同期トリガー屋外フラ		ブザー設定	19
ッシュ	07	PCポート設定	19
ワイヤレス同期トリガースタジオ		SHOOT機能設定	20
フラッシュ	08	Bluetooth設定	20
ワイヤレス同期トリガーオリジナル		アプリダウンロード	21
フラッシュ	09	MENU: カスタムメニュー	21
ワイヤレストリガーカメラシャッ		互換性のあるフラッシュ型番	24
ター	09	XTワイヤレスシステムとX1ワイヤレ	
2.5mm同期インタフェースを使用		スシステムとのチャンネル関係	25
したフラッシュトリガー	10	互換性のあるカメラリスト	25
電源スイッチ	10	仕様とパラメータ	26
省電力モード設定	11	工場出荷時の設定に戻す	27
AFフォーカス補助ランプスイッチ	11	ファームウェアのアップデート	27
チャンネル設定	11	注意事項	27
ワイヤレスID設定	12	フラッシュトリガーの保守	28
空きのチャンネルスキャン設定	12		
モード設定	13		

前書き

GODOX XPROII S ワイヤレスフラッシュトリガーをご購入いただき、ありがとうございます。

このフラッシュトリガーは、ソニー製カメラの制御に用いる GODOX フラッシュトリガーであり、GODOX ワイヤレス X システムを利用できるセットトップフラッシュ、屋外フラッシュ、スタジオフラッシュの操作に用い、X1R-S と合わせて使用してキャノンのオリジナルフラッシュに用いることができます。マルチチャンネル制御、安定な信号、高い感度を備え、カメラマンの照明の配置を便利にし、さまざまな撮影上のニーズを満たすことができます。このトリガーは、Sony のホットシュー付きカメラに適しており、PC ポートを持つカメラに接続して使用することができます。TTL フラッシュと高速フラッシュ同期に対応でき、最大フラッシュ同期速度は 1/8000s です。

*: 制限条件: カメラの最大シャッター速度は 1/8000s。

警告

この機器を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。

この製品を乾いた状態に保ってください。濡れた手でこの製品に触れたり、この製品を水に浸したり、雨にさらしたりしないでください。

お子様が本製品に触れないようにしてください。

可燃性や爆発性の雰囲気では使用しないでください。このような場合は、関連する警告サインに注意してください。

50℃を超えた高温環境には置かないでください。

故障が発生した場合は、直ちにトリガーの電源を切ってください。

電池使用上のご注意:

この取扱説明書に記載している電池しか使用できません。

新旧の電池や異なるタイプの電池を混用しないでください。

メーカーからの警告や指示をよくお読みになり、遵守してください。

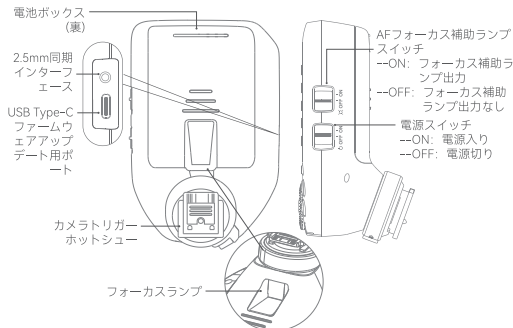
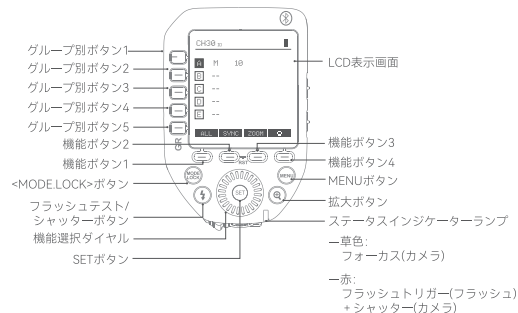
電池を短絡させたり、取り外したりしないでください。

電池を火中に投入したり加熱したりしないでください。

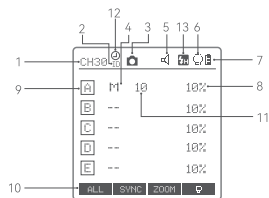
逆方向で電池を取り付けてはいけません。

電池残量が低いとき、液漏れが発生しやすいです。製品の損傷を避けるために、本製品を長時間で使わないか、電池残量が低いときに電池を取り出してください。損傷した電池の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。

部品 本体

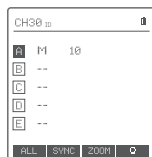


LCD 表示画面

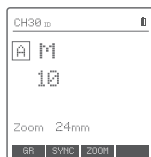


1. チャンネル (32 チャンネル)
2. ID 識別番号 (99 の ID 番号)
3. カメラに接続
4. グループモード
5. ブザー設定
6. 造形ランプ設定
7. 電池残量表示
8. グループ別造形ランプ
9. グループ別
10. 機能ボタン対応のアイコン
11. 出力パワーグレード
12. 高速同期遅延
13. 高速同期

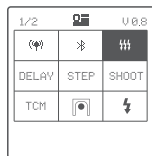
ここで造形ランプのアイコンが表示される場合は、造形ランプのマスター制御ユニットがオンになっていることを示します。



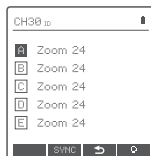
マルチグループ表示



シングルグループ表示



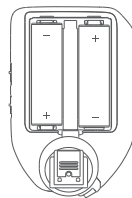
メニュー表示



マルチグループZOOM表示

電池装入

フラッシュトリガー裏の電池カバーを摺動して開き、電池ボックス内のプラスとマイナスの指示に従って、それぞれ AA 電池 2 本を挿入します (別途購入必要)。



電池残量表示

使用する際に LCD 画面に電池アイコンを表示し、いつでも電池残量を確認できます。

LCD画面の電池残量記号表示	説明
3本	電池残量が多い
2本	電池残量がやや多い
1本	電池残量が低い
フレーム	電池残量が少なくなり、すぐに電池を交換してください
点滅	<2.5V 電池残量がすぐになくなります (電池を交換してください。そうしないと、速く離れた場合は点滅が漏れたり、点滅しない場合があります)

この電池残量は AA アルカリ電池のみに対して示します。ニッケル水素電池の電圧が低いので、この表を参照しないでください。

ワイヤレス同期トリガーセットトップフラッシュ

使用方法: V1 シリーズのセットトップフラッシュを例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。



2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階/パラメータを設定します。

3. セットトップフラッシュ V1 電源を入れ、ワイヤレスボタンを短く押して、画面にワイヤレスアイコン <④> とスレーブユニットアイコン <RX> を表示させ、<MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、<CH> チャンネル設定ボタンをフラッシュトリガーと同じチャンネルに設定し、<Gr> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループに設定します。

(注: その他の機種のセットトップフラッシュの設定については、対応するセットトップフラッシュの取扱説明書に従ってください)

4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

ワイヤレス同期トリガー屋外フラッシュ

使用方法: AD600Pro を例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。



2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階/パラメータを設定します。
3. 屋外フラッシュ電源を入れ、ワイヤレスボタンを短く押して、画面にワイヤレスアイコン <④> を表示させ、<GR/CH> グループ別チャンネルボタン設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<GR/CH> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。

(注: その他の機種の屋外フラッシュの設定については、対応する屋外フラッシュの取扱説明書に従ってください)

4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

ワイヤレス同期トリガースタジオフラッシュ

使用方法: QT III を例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。



2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階/パラメータを設定します。
3. スタジオフラッシュ電源を投入し、MODE/ ワイヤレスボタンを短く押して、画面にワイヤレスアイコンを表示させ、この時 2.4GHz ワイヤレス状態に入ったことを示します。<GR/CH> グループ別チャンネルボタン設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<GR/CH> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。
- (注: その他の機種のスタジオフラッシュの設定については、対応するスタジオフラッシュの取扱説明書に従ってください)
4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にスタジオフラッシュとトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

注: スタジオフラッシュの最小出力値は 1/32。フラッシュトリガーの出力値を設定する際に $\geq 1/32$ の値を設定する必要があります。スタジオフラッシュには TTL とストロボ機能がないので、フラッシュトリガーを設定する時に M モードを選択しないとスタジオフラッシュをトリガーできません。

ワイヤレス同期トリガーオリジナルフラッシュ

使用方法: HVL-F45RM を例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。
2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。
3. オリジナルセットトップフラッシュを受信機 X1R-S に置き、受信機は <CH> チャンネル設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルに設定し、<Gr> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループに設定します。
(注: オリジナルフラッシュの設定については、対応するオリジナルフラッシュの取扱説明書に従ってください)
4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にセットトップフラッシュとトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

注: XPro IIS がどのモードにあるかにかかわらず、ソニーのオリジナルセットトップフラッシュは TTL 自動モードに設定する必要があります。

ワイヤレストリガーカメラシャッター

使用方法

1. カメラの電源を切り、「カメラリモコンケーブル」で接続し、その一端はカメラシャッターソケットに、もう一端は受信機 X1R-S「シャッターポート」に挿入し、カメラと受信機の電源を入れます。
2. フラッシュトリガーの設定 <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。
3. 受信機の設定: 受信機は <CH> チャンネル設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルに設定し、<Gr> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループに設定する必要があります。

4. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、< 4 > を SHUTTER(シャッターフラッシュ) に設定します。< 4 > ボタンを半押ししてピントを合わせ、< 4 > ボタンを全押しして撮影を行い、ステータスランプが赤く点灯します。

注: 受信機 X1R-S は別途購入する必要があります。

2.5mm 同期インタフェースを使用したフラッシュトリガー

使用方法

1. カメラフラッシュをオフにし、「同期ケーブル」で接続し、その一端はフラッシュに挿入し、もう一端は受信機 X1R-S「シャッターポート」に挿入し、フラッシュと受信機の電源を入れます。
2. フラッシュトリガーの設定 <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。<MODE.LOCK> ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。
3. 受信機の設定 <CH> チャンネル設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルに設定し、<Gr> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループに設定します。
4. シャッターを押し、同期インタフェース信号を用いてフラッシュを制御します。

注: 受信機 X1R-S は別途購入する必要があります。

電源スイッチ

電源スイッチを「ON」にして電源を入れ、「OFF」にして電源を切ることができます。

注意: 長時間で使用しない場合は、電力の消費を回避するために電源を切ってください!

省電力モード設定

1. 設定時間(60秒/30分/60分)を超えてフラッシュトリガーを操作しない場合、システムは自動的に待機モードに入り、LCD表示が消えます。

注: スリープモードは MENU メニューで調整できます。

2. 任意のボタンを押すことでスリープ状態のシステムをウィックアップできます。

注: 省電力モードを使用しない場合は、<MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、スリープモードを OFF に設定してください。

AF フォーカス補助ランプスイッチ

AF 補助フォーカスランプスイッチを「ON」にして、AF フォーカス光線を出力できます。カメラのピント合わせができない場合は、フォーカスランプが自動的に点灯します。ピントが合っている場合は、フォーカスランプが自動的に消灯します。

ミラーレスカメラを使用する場合は、まずメニューに入って AF を設定し、「MILC」を選択する必要があります。

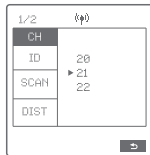
シングレンズカメラを使用する場合は、メニューで AF を設定し、「DSLR」を選択する必要があります。

チャンネル設定

1. <MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入ります。

2. ダイヤルを <⏏> に回し、<SET> ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、次にダイヤルを <CH> チャンネルに回し、その後 <SET> ボタンを短く押して <CH> チャンネル設定画面に入ります。この時、ダイヤルを回して 1~32 チャンネルを選択することができます。選択したら、<SET> ボタンを短く押して <CH> チャンネルの設定を終了します。

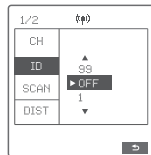
注: 使用する前に必ずフラッシュトリガーと受信機を同じチャンネルに設定してください。



ワイヤレス ID 設定

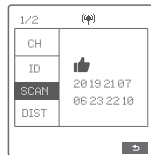
ワイヤレス伝送チャンネルまたはワイヤレス ID 番号を変更することで撮影への干渉を回避することができます。マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレス ID、チャンネルは一致していなければトリガできません。

1. <MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入ります。機能選択ダイヤルを <⏏> に回し、<SET> ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、次にダイヤルを <ID> に回し、その後 <SET> ボタンを短く押して ID 設定画面に入ります。この時、ダイヤルを回して OFF/1-99 を選択することができます。選択したら、<SET> ボタンを短く押して <ID> 設定を終了します。



空きのチャンネルスキャン設定

他の人が自分と同じチャンネルを使うことを避け、撮影の干渉防止性能を高めるために、空きチャンネルスキャン機能を使うことができます。MENU ボタンを短く押してメニューに入り、ダイヤルを回して <⏏> を選択し、SET ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、ダイヤルを回して SCAN オプションを選択します。SET ボタンを短く押して SCAN 設定画面に入り、ダイヤルを回して START を選択し、SET ボタンを短く押すと、5% から 100% スキャンが表示され、スキャンが完了すると 8 グループの空きチャンネルが表示されます。

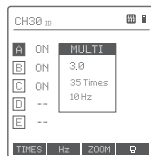


モード設定

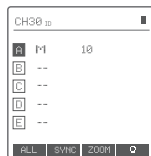
グループ別ボタンを短く押してグループを選択し、<MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、選択したグループ別モードが変化します。

**メニューの<Ⓜ>-GROUPS(グループ別)が5(A-E)
(5グループ別)に設定され、<🔊>ストロボがオン(ON)になっている
場合:**

- マルチグループモード表示の場合に<MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、マルチグループ表示モードがMULTIモードに切り替わることができます。グループ別選択ボタンを短く押してグループ別を選択し、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してそのグループのMULTIモードを「ON」またはオフ(一)にします。
グループ別ボタンを押して選択を解除した後、再度<MODE.LOCK> ボタンを押すとMULTI(ストロボ)モードを終了できます。



- マルチグループモード表示の場合にグループ別選択ボタンを短く押してグループ別を選択した後、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してモードを切り替えることができます。グループA,B,CはTTL/M/--、グループD,EはM/--にのみ切り替えることができます。
注: TTLは自動フラッシュ、Mは手動フラッシュ、--はモードオフです。

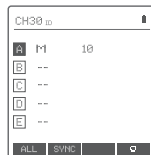


- シングルグループモード表示の場合に<MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、現在のグループモードをグループA,B,CはTTL/M/OFF、グループD,EはM/OFFにのみ切り替えることができます。
注: TTLは自動フラッシュ、Mは手動フラッシュ、OFFはモードオフです。



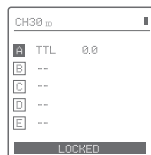
メニューの<Ⓜ>-ワイヤレス-GROUPS(グループ別)が16(0-F)(16グループ別)に設定されている場合:

- マルチグループモード表示とシングルグループモード表示は、M手動モードのみがあります。



ロック機能

<MODE.LOCK> ボタンを2秒間長押しすると、画面の下に「LOCKED」が表示され、現在の画面がロックされていることを示し、この時は何のパラメータも設定できません。もう一度<MODE.LOCK> ボタンを2秒間長押しするとロックを解除できます。



拡大機能

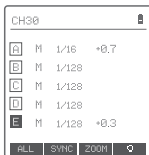
マルチグループ表示からシングルグループ表示への切り替え: マルチグループモードでグループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、<🔍> ボタンを短く押して、グループ別をシングルグループ表示モードに拡大し、<🔍> ボタンを短く押すとマルチグループ表示モードに戻ることができます。



段階値の設定 (パワー設定)

マルチグループ表示で M モードの場合

1. グループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値が Min.~1/1 または Min.~10 の間で変化し、各段階は 0.1 または 1/3 で増加されます。最後に <SET> ボタンを押して、このグループの電力出力値を確定します。
2. 機能ボタン 1(ALL ボタン)を短く押すとすべての電力出力値が選択され、機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値は Min.~1/1 または Min.~10 の間で変化し、各段階は 0.1 または 1/3 で増加され、最後に機能ボタン 1(ALL ボタン)を短く押してすべての電力出力値を確定します。



シングルグループ表示で M モードの場合

1. 直接機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値は Min.~1/1 または Min.~10 の間で変化し、各段階は 0.1 または 1/3 で増加されます。
注: M モードは手動フラッシュモードです。

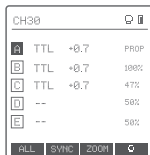


注: Min. は、M または Multi モードで設定できる最小出力値です。Min. の値は、MENU-STEP で設定された値によって異なります。最小出力値段階(STEP)は全部で 9 種類あり、それぞれ 1/128 0.3、1/256 0.3、1/512 0.3、1/128 0.1、1/256 0.1、1/512 0.1、3.0 (0.1)、2.0 (0.1)、1.0 (0.1) です。ほとんどのセットトップフラッシュでサポートされている最小出力は 1/128 または 1/128 (0.1) であり、1/256 または 1/256 (0.1) に設定することはできません。GODOX 社の AD600Pro などの大出力スタジオフラッシュに合わせて、最小出力を 1/256 または 1/256 (0.1) に調整することができます。

露出補正装置

マルチグループ表示で M モードの場合

1. グループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して、その FEC 値が -3~3 の間で 0.3 ずつ増加し、<SET> ボタンを短く押してこのグループの FEC 値を確定します。
2. 機能ボタン 1(ALL ボタン)を短く押すとすべての FEC 値が選択され、機能選択ダイヤルを回して、その FEC 値は -3~3 の間で 0.3 ずつ増加し、もう一度機能ボタン 1(ALL ボタン)を短く押してすべての FEC 値を確定します。



シングルグループ表示で TTL モードの場合

1. 直接機能選択ダイヤルを回して、その FEC 値は -3~3 の間で 0.3 ずつ増加されます。
注: TTL モードは自動フラッシュモードであり、FEC 値は露出補正値です。



ストロボパラメータ設定(出力値、頻度、周波数設定)

ストロボパラメータの設定条件: メニュー<(P)>-GROUPS は 5(A-E) を選択し、メニューストロボは ON(オン)にする必要があります。

マルチグループ表示の場合、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してストロボパラメータ値設定画面に入ります。

1. ストロボ(MULTI)モードでは(TTL も M アイコンも表示されません)。

- 3 行の表示内容は、それぞれ電力出力値 (Min.~1/4 または Min.~8.0)、Times (フラッシュ回数)、Hz (フラッシュ周波数) です。
- ダイヤルを回し、その電力出力値は Min.~1/4 または Min.~8.0 の間で全段階で変化します。
- 機能ボタン 1 (TIMES ボタン) を短く押し、機能選択ダイヤルを回してフラッシュ回数 (1-100) を調整します。
- 機能ボタン 2 (HZ ボタン) を短く押し、機能選択ダイヤルを回してフラッシュ周波数 (1-199) を調整します。
- 任意の項目または 3 項目の設定値を設定したら、<MODE.LOCK> ボタンを押して、ストロボパラメータ値の設定画面を終了します。

*注: フラッシュ回数はフラッシュ出力値と周波数に制約され、設定されたフラッシュ回数はシステム許容の上限値を超えてはなりません。受信機に送信された回数は、カメラのシャッター設定に関連した実際のフラッシュ回数です。

注: Min. は、M または Multi モードで設定できる最小出力値です。Min. の値は、MENU-STEP で設定された値によって異なります。最小出力段階(STEP)は全部で 9 種類あり、それぞれ 1/128 0.3、1/256 0.3、1/512 0.3、1/128 0.1、1/256 0.1、1/512 0.1、3.0 (0.1)、2.0 (0.1)、1.0 (0.1) です。



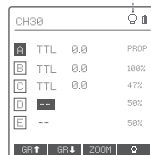
造形ランプ設定

- マルチグループ表示の場合に、機能ボタン 4 を短く押して、マルチグループの造形ランプをオン / オフにすることができます。
- マルチグループが表示し、造形ランプのマスターがオンになっている場合、グループ別ボタンを短く押してグループを選択します。機能ボタン 4 を短く押して、このグループの造形ランプの状態を切り替えることができます。オフ (--)、百分率 (10%-100%) または PROP (フラッシュの明るさに応じて変わる自動モード) の 3 つの状態があります。

造形ランプが百分率状態の場合、機能ボタン 4 を長押しして造形ランプ輝度値設定画面に入り、出力値選択ダイヤルを回して必要な百分率を選択できます。シングル表示場合の操作も上記マルチグループ表示の場合と同じです。

(注: 現時点でシングルグループ造形ランプスイッチを使用できるスタジオフラッシュの型番は以下の通りです: GSII, SKII, SKIIV, QSII, QDII, DEII, DPHI シリーズ、DPHI シリーズ、その他、屋外フラッシュ AD200、AD600 シリーズがアップデートされた後にこの機能を使用することができます。今後、新しく発売する造形ランプを含むフラッシュはすべて、この機能を使用することができます。

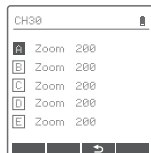
ここで造形ランプのアイコンが表示される場合、造形ランプのマスター制御ユニットがオンになっていることを示します。



ZOOM 値設定

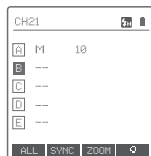
機能ボタン 3 を短く押して表示画面に ZOOM 値が表示され、グループ別ボタンを短く押して変更するグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して ZOOM 値は AUTO/24-200 で変化し、設定する ZOOM 値を選択し、最後に機能ボタン 3 を短く押して主画面に戻ります。

注: メニューのワイヤレス -GROPS (グループ別) が 16 (0-F) (16 グループ別) に設定されている場合、マルチグループ表示またはシングルグループ表示にかかわらず、zoom 値を設定することはできません。



シャッター同期設定

- 高速同期: <SYNC> ボタンを押して画面に <F< > を表示させます。SONY カメラで MENU ボタンまたは Fn ショートカットを押して フラッシュモードに入り、強制フラッシュを選択した後にカメラシャッターを設定します。



2. リアカーテン同期: カメラ上で MENU ボタンまたは Fn ショートカットを直接押してフラッシュモードに入り、リアカーテン同期フラッシュ  を選択した後にカメラシャッターを設定します。

ブザー設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <  > に回し、さらに <SET> ボタンを押してブザー画面に入り、選択ダイヤルを回して、<ON> オンにするか <OFF> オフにするかを選択することができます。最後に <MENU> ボタンを短く押してメインメニューに戻ります。

<ON> を選択するとブザーが起動します。

<OFF> を選択するとブザーがオフになります。

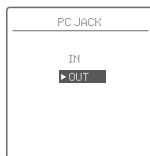


PC ポート設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <PC> に回し、さらに <SET> ボタンを短く押して PC ジャック設定に入り、機能選択ダイヤルを回して IN または OUT を選択し、最後に <MENU> ボタンを短く押してメインメニューに戻ります。

<IN> を選択すると、カメラが送信機をトリガします。

<OUT> を選択すると、送信機がフラッシュをトリガします。



SHOOT 機能設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <SHOOT> に回し、更に <SET> ボタンを短く押して SHOOT 機能設定に入り、機能選択ダイヤルを回して 1 人撮影 / グループ撮影 / L-858 を選び、最後に <MENU> ボタンを短く押して主画面に戻ります。

1 人撮影: カメラで撮影するときに単写を選択し、M と Multi モードでは、マスター制御ユニットはスレープ制御ユニットにのみフラッシュ信号を送信します。これは一人で撮影に適しており、省電力に優れます。

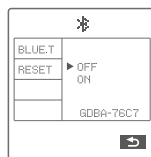
グループ撮影: カメラで撮影するときにグループ撮影を選択すると、マスター制御ユニットはパラメータとフラッシュ信号をスレープ制御ユニットに送信します。これはグループ撮影に適し、電力の消費が速いです。

L-858: L-858 ライトメータを使用してフラッシュデータを直接設定し、送信機は同期信号のみを送信します。



Bluetooth 設定

BluetoothMAC コードの表示: MENU ボタンを短く押してメニューカスタム画面に入り、SET ダイヤルを回して () を選択し、次に SET ボタンを短く押して Bluetooth 設定画面に入り、Bluetooth MAC コードは右下隅に表示されます。



Bluetooth リセット: MENU ボタンを短く押してメニューカスタム画面に入り、SET ダイヤルを回して()を選択し、次に SET ボタンを短く押して Bluetooth 設定画面に入り、SET ダイヤルを回して「RESET」を選択し、SET ボタンを短く押して選択画面に入り、SET ダイヤルを回して「RESET」を選択し、最後に SET ボタンを短く押して Bluetooth リセットを行い、リセット完了後に自動的に前の設定画面に戻ります。

アプリダウンロード

QR コードをスキャンして「Godox Flash」モバイルアプリをダウンロードできます。(Android と apple システムの両方も利用できます)



詳細については、アプリ内の「使用方法」をクリックし、ここで詳しく教えてあげます。

注: 最初のモバイル デバイス (携帯電話またはタブレット) は、アプリを直接使用してランプ本体を制御できます。他のモバイルデバイス(携帯電話やタブレット)を交換する場合、アプリ接続を正常に使用するには、ランプ本体の Bluetooth リセットを行う必要があります。

Bluetooth の初期パスワードは、000000 です。

MENU: カスタムメニュー

以下のアプリケーション欄を参照して、カスタム機能を使用して設定してください。

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
	ワイヤレス	CH	32グループ: 1-32
		ID	OFF: オフ 1-99: 01-99から選択できます
		SCAN	OFF: オフ START: 空きのチャンネルのスキャンを開始します
		DIST	1-100m: 1-100mフラッシュ 0-30m: 0-30mフラッシュ
		GROUPS	5(A-E): 5グループ別 16(0-F): 16グループ別

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
	Bluetooth	BLUE.T	OFF: Bluetoothオフ ON: Bluetoothオン
		RESET	CANCEL: 操作をキャンセルします RESET: Bluetoothをリセットします
	頻繁に点滅	ON	フラッシュをオンにします
		OFF	フラッシュをオフにします
DELAY	高速同期遅延	OFF	高速同期遅延をオフにします
		0.1ms-9.9ms	0.1ms-9.9ms: 高速同期遅延範囲
STEP	段階(出力)	1/128 0.3	最小出力段階1/128(各段階は1/3で増加されます)
		1/256 0.3	最小出力段階1/256(各段階は1/3で増加されます)
		1/512 0.3	最小出力段階1/512(各段階は1/3で増加されます)
		1/128 0.1	最小出力段階1/128(各段階は0.1で増加されます)
		1/256 0.1	最小出力段階1/256(各段階は0.1で増加されます)
		1/512 0.1	最小出力段階1/512(各段階は0.1で増加されます)
		3.0 (0.1)	最小出力段階3.0(各段階は0.1で増加されます)
		2.0 (0.1)	最小出力段階2.0(各段階は0.1で増加されます)
SHOOT	1人撮影		カメラで撮影する時にM&Multiモードでフラッシュ信号のみを送信します
	グループ撮影		カメラで撮影する時にパラメータとフラッシュ信号(複数人での撮影に適合)を送信し、受信側にX1R-S受信機があるので、グループ撮影モードを使用しないでください。
	L-858の使用	L-858	L-858ライトメータを使用してフラッシュデータを直接設定し、送信機は同期信号のみを送信します。
TCM	TCM変換機能	OFF	TCM変換機能をオフにします
			TT685II/V860IIIシリーズ
		100j	AD100PRO
		200j	AD200
		300j	AD300Pro
		360j/400j	AD400Pro
		600j	AD600, AD600Pro
		1200j	AD1200Pro

TTL フラッシュ値をM(手動フラッシュ)出力値に変換し、混用するときはメインランプ型番が優先されます。TCM変換機能をオンにし、<MODELOCK>ボタンを押してTCM変換を行うことができます

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
	伝統的なホットシュー	OFF	伝統的なホットシューをオフにします
	トシュー	ON	伝統的なホットシューをオンにし、TTLフラッシュを使用できず、高速同期フラッシュ機能がないです
	フラッシュテストボタン	TRIGGER	トリガーフラッシュテスト
		SHUTTER	シャッターフラッシュテスト
PC	PCポート	IN	入力側、カメラが送信機をトリガします。
		OUT	出力側、送信機がフラッシュをトリガします。
AF	フォーカス補助ランプ	MILC	ミラーレスカメラを使用する場合、このフォーカスランプを選択すると自動的に点灯します（フォーカスランプがオンの場合）
		DSLR	シングルレンズカメラを使用する場合、このフォーカスランプを選択すると自動的に点灯します（フォーカスランプがオンの場合）
	ブザー	OFF	ブザーをオフにします
		ON	ブザーをオンにします
	スリープ	60sec	60秒操作しないと、スリープモードに入ります
		30 min	30分操作しないと、スリープモードに入ります
		60 min	60分操作しないと、スリープモードに入ります
		OFF	スリープ機能をオフにします
LIGHT	バックライト	12 sec	12秒操作しないと、LCDとボタンのバックライトが自動的に消灯します
		OFF	LCDとボタンのバックライトをオフにします
		ON	LCDとボタンのバックライトを常時オンにします
	LCDコントラスト	-3~+3	コントラスト値の範囲: -3 ~ +3の整数
USER	事前設定の使用	SAVE	保存グループ: 1-5
		LOAD	ロードグループ: 1-5
CLEAR	データ削除	CANCEL	キャンセル
	機能	CLEAR	メニューデータの削除

注: <  > の対応する機能ボタン 4 を短く押して前の設定に戻ることができます。

互換性のあるフラッシュ型番

送信機	受信機	フラッシュ型番	備考
XPRO II S	---	AD300Pro、AD100Pro、AD600B、AD200、AD200Pro、V850IIシリーズ、V850IIIシリーズ、V1シリーズ、V860IIシリーズ、V860IIIシリーズ、TT685シリーズ、TT585シリーズ、TT600シリーズ、V350S、TT350S、QTIIシリーズ、SK300IV、SK400IV、MS300V、MS200V、DPIIIシリーズ、DPIIIシリーズ	
		X1R-S	1.ソニーのカメラと互換性のあるセットトップフラッシュが多く市販されており、GODOXワイヤレスUSBポートが付いているものをすべて検証することはできません。 2.グループ撮影機能<  >を使用しないでください。
	XTR-16	AD360/AR400	GODOXワイヤレスUSBポートが付いているフラッシュ
		閃客一代シリーズ/SK一代シリーズ/DP一代シリーズ/GT/GS一代シリーズ小精霊	フラッシュ機能のみ
	XTR-16S	V860N V850	

注: 対応できる機能範囲: XPro II S とフラッシュ両方が備えている機能。

XT ワイヤレスシステムと X1 ワイヤレスシステムとのチャンネル関係

XT-16 コードスイッチ								
X1 ディスプレイ	CH01	CH02	CH03	CH04	CH05	CH06	CH07	CH08
XT-16 コードスイッチ								
X1 ディスプレイ	CH09	CH10	CH11	CH12	CH13	CH14	CH15	CH16

互換性のあるカメラリスト

本機は以下のソニーカメラモデルと互換性があります

a77 II, a77, a99, ILCE-6000L, a9, A7R, A7RIII, a350, DSC-RX10, A7IV, A7C, A7M4

- この表は、現在試験されているカメラモデルのみを記載しており、ソニーのすべてのモデルは含まれていません。他のカメラモデルは、ユーザーが自分で試験することができます。
- 当社は、この表の内容を将来変更する権利を留保します。

仕様とパラメータ

型番	XPROII S
互換性のあるカメラ	ソニーカメラに対応（TTL自動フラッシュ） PC出力ポート付きのすべてのカメラ
電源供給	2*AA電池
露出制御	
TTL自動フラッシュ	備える
手動フラッシュ	備える
ストロボフラッシュ	備える
機能	
高速同期	あり
リアカーテン同期	あり
露出補正	±3EV（露出値）、1/3EVで増加する
露出ロック	備える
補助フォーカス	備える
造形フラッシュ	トリガーを介してフラッシュの造形ランプを制御できます
ブザー	トリガーを介してフラッシュのブザーを制御できます
ワイヤレスシャッター	受信機は2.5mm同期インターフェースを介してカメラの撮影を制御できます
ZOOM設定	送信機によってフラッシュの焦点距離値を調整でき、自動AUTO/焦点距離 24-200を選択できます
TCM	TTL撮影値をM出力値に変換させます
ファームウェアのアップデート	本体のUSB Type-Cポートを介してファームウェアのアップデートを行います
記憶機能	2秒設定後のパラメータを自動的に記憶し、再起動すると自動的に回復します
ディスプレイ	バックライトのオン/オフを切り替えるワイドスクリーン液晶表示
ワイヤレスフラッシュ	
伝送距離(約)	0-100メートル
ワイヤレス内蔵	2.4GHz
変調モード	MSK
チャンネル	32つ
ワイヤレスID	OFF, 01-99
グループ別	5グループまたは16グループ(メニューから選択できる)
仕様	
寸法	95mm*62mm*49mm
正味重量	93g

工場出荷時の設定に戻す

同時に中央の 2 つの機能ボタンを 2 秒間長押しし、画面に RESET が表示され、下に CANCEL と OK の 2 つのオプションがあり、SET ダイヤルを回して OK を選択し、SET ボタンを短く押して、自動で主画面に戻り、工場出荷時の設定に復帰したことを示します。

ファームウェアのアップデート

この機器は USB ポートを通じてファームウェアのアップデートを行うことができます。ソフトウェアの最新の公告と説明は公式サイトに発表されます。

注：本製品は出荷時に USB アップデートケーブルが付属していないので、別途購入してください。本製品の USB ポートは USB Type-C であり、USB Type-C ケーブルを使用してください。ファームウェアのアップデートには、Godox G3 プログラムソフトウェアのサポートが必要です。ファームウェアをアップデートする前に「Godox G3 ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールし、対応するファームウェアファイルを選択してください。製品のファームウェアがアップデートされたので、説明書の最新電子版をご参照ください。

注意事項

1. 正しくフラッシュできず、または撮影できない場合は、電池が正しく装入しているかどうか、およびフラッシュトリガーの電源を入れているかどうか、フラッシュトリガーが同じチャンネルに設定されているかどうか、接続ケーブルまたはホットシューが正しくしっかりと接続されているかどうか、機能モードが正しく設定されているかを確認してください。
2. カメラが撮影しかできず、フォーカスができない場合、本体またはレンズが MF マニュアルフォーカスに設定されているかどうかを確認し、AF オートフォーカスに設定してください。
3. お使いのフラッシュトリガーが他人のものに干渉されてフラッシュしたり、撮影されたりする場合は、フラッシュトリガーのチャンネル設定を変更してください。

GODOX2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因および解決策:

1. **外部環境 2.4G 信号干渉(無線基地局、2.4Gwifi ルータ、Bluetooth デバイスなど)**
フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し (+10 推奨)、干渉のないチャンネルを使用するか、使用中に他の 2.4G デバイスをオフにしてください。
2. **フラッシュが戻りまたは戻り速度が連写速度(フラッシュ準備完了インジケータランプが点灯)に従っており、過熱保護またはその他の異常状態にないことを確認してください。**
フラッシュの段階値を下げてください。TTL モードの場合は M モードに変更してみてください(TTL モードではプリフラッシュが必要です)。
3. **フラッシュトリガーとフラッシュととの距離が近すぎますか(距離 <0.5m)**
フラッシュトリガーで「近距離ワイヤレスモード」をオンにし、MENU- (P) —DIST を 0-30m に設定してください。
4. **フラッシュトリガーおよび受信機の電力が低いですか**
電池を交換してください(フラッシュトリガーの電池として、1.5V の使い捨てアルカリ電池を推奨)

フラッシュトリガーの保守

落下防止: 強い衝突や振動は、フラッシュトリガーの故障の原因となります。

乾燥状態を保持: 本製品は防水製品ではありません、水に浸したり、高湿度の環境に置くと故障する可能性があります。内部構造が錆びるや修理できない場合があります。

寒い日に暖かいビルに出入りするなどの温度の急変を避けてください。フラッシュトリガーの内部が結露する可能性があります。結露を避けるために、フラッシュトリガーを手提げ袋やビニール袋に入れておく、温度の急変を防ぐことができます。

強い磁場から離れる: 無線放送送信機などの機器で発生する強い静電気または強い磁場は、本製品の正常な動作を妨げる可能性があります。

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

適用品

本書類は『製品修理保証情報』（後記の説明をご覧ください。）に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品（セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等）はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授權されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間を超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適当に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適当に外部設備を挿したり 抜いたりすること；落ちることや押しつぶすこと；不適当な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと；③神牛が授權されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のももとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法な授權、標準街、公開されていないで発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれな、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外の部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることに、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません。

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器などの帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
その他	ケース、保護カバー、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：0755-29609320-8062